

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-24 □支 援 部 門 河川維持補修事業									
主管課	河川課	関連課	下水道課・総合防災課							
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	護岸等の補修や除草・浚渫等の維持管理により、水害から人命・財産を守る。									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考					
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	31,879	14,248	57,343						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	31,879	14,248	57,343						
	人員配置数	1.3	0.9	0.9						
	人件費(千円)	11,182	7,911	8,130						
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	43,061	22,159	65,473						
	市民1人当 りの経費(円)	243	125	371						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
河川講習会・準用河川の修繕	○	目標値	5回 35m	5回 35m	5回 35m					
実績値		2回 55m	2回 22m							

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。								
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。				④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。								
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止								
河川維持補修事業	31,879千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	準用河川の護岸の補強・修繕工事。準用河川等のしゅんせつ。神奈川県河川協会への参加。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	財政状況から施設修繕が計画通り実施されていないことから、今後、良好な維持管理を保持出来ないことが危惧される。					
課題解決のための取組	規定内の予算で、護岸の修繕を進めるため安全性を考慮しながら低廉な工法を検討した。					
未解決の課題	準用河川修繕計画に沿った修繕が多く残っている。					
今後の方針	修繕計画の数値目標はもとより、さらに施設の健全度を明確にし、修繕計画の数値目標を達成していく。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ □事業完了	課長名	河川課長 米木弘行

